



講演する

渡邊前副部長↓

道本部青年部は、12月20日～21日、札幌市・自治労会館で「２０１５国民春闘勝利！自治労北海道本部青年部春闘討論集会」が開催され、名寄市職労青年部からは、髙橋部長、本郷副部長、仁尾書記長、堂前上川地本青年部長が参加しました。

１日目は、主催者あいさつ、来賓あいさつの後、「２０１５春闘の課題と職場での実践」と題し、渡邊前道本部青年部副部長から講演を受けました。

講演では、春闘情勢や給与制度の総合的見直し、人事評価制度など直近の課題の問題点などについて話され、最後に「どんな取り組みも職場や生活のなかで実践しなければ何も変わらず、そのためにも仲間と一緒に一歩踏み出すことが大事である」ということが話されました。講演後には、春闘方針が提起され、分散会を行いました。

分散会では、「人員削減により業務量は増加しているがサービス超勤が当たり前になっていてモチベーションが上がらない」「人事評価制度導入は人間関係を悪化させるだけだと思う。導入されたらどうなるか不安を感じる」といった不安や不満の声が**上がり**ました。

２日目は、分散会報告、平和友好祭中央祭典報告、道下大樹北海道議会議員より組織内議員としてどのような活動をしているのかの報告を受けました。

その後の全体討論では、**「給与制度の総合的見直しのたたかいにおいて、労使合意がないまま当局が議会へ強行提案したが、議員に自分達の生活実態や制度の問題点など丁寧に説明したことで、当局提案が否決され１号俸抑制を阻止することができ、政治が自分達の生活に密接に関わっていることを実感できた**」など全体で16本の発言がありました。

最後に斉藤道本部青年部長が「取り組みを行うにも本音で話せる仲間がいなければ実践は難しいが、いきなり仲間が増えることはない。丁寧な活動により一人ひとりが地道に仲間に関わっていくことでしか組織強化ははかれず、運動の前進もない。まずは職場に戻って仲間に拡げていこう！」と集約し、団結ガンバローで集会が終了しました。

↑司会進行で

大活躍の堂前さん

**１月２８日に開催された名寄市職労第１４回定期大会で推薦決定！！**